

主な記事から
●2016私のBEST3
●私の挫折本政
●最新研究

2016年私のBEST3



先日新聞で読んでいた『定本 夢野久作全集』(全8巻) 図書館の告知を見つけた。

最近文庫を短編傑作選が立て続けに出ている。『夢野久作全集』(全8巻) 図書館の告知を見つけた。

『クラム』(全2巻) 夢野久作全集の傑作選。『クラム』(全2巻) 夢野久作全集の傑作選。

『クラム』(全2巻) 夢野久作全集の傑作選。『クラム』(全2巻) 夢野久作全集の傑作選。

まず、『少年の名はシルベール』を『風と木の詩』で少女漫画界に革命を起した竹宮恵子の半生記。彼女は天才肌で自信満々だったろうと勝手にイメージを持っていた私は、彼女にも認めてもらえない時代があり、同時代のスター漫画家・萩尾望都への憧れや嫉妬や苛立ちで心を病む程に苦悩したというエピソードに衝撃を受けた。大御所になった今、悩めるクリエーターに向けて若かり頃の苦い思い出を告白した著者に拍手を送りたい。
二冊目、『罪の声』はグニコ・森永事件をベースとした未解決事件を追うミステリ小説。構想十五年。元新聞記者でもある塩田武士の執念が生んだ傑作だ。果たして犯人は何者なのか?という興味から読み始めたが、物語が進むうちに事件に関わった人々、特に犯行声

一冊目は、『ゼロヴィル』です。圧倒的な想像力で物語を繰り広げる「幻視の作家」とも呼ばれる現代アメリカ文学の重要作家の一人、ステイヴ・エリクソンの新作です。難易度が高めで敷居の高い作家とも言われていますが、本作は細かい章仕立てとスピーディ感のある展開であつという間に読み切ってしまった。

二冊目は、『クラブ/イブンディレーベル・ガイドブック』です。去年はApple Music、今年も Spotify など定額制のストリーミング配信による音楽サービスが日本でも開始され、音楽と接するチャンネルが更に海外のクラブ/インディ音楽界隈では1アーティ

一位「奥田民生 生誕50周年伝説」となりのベイトーベン、LIVE DVD 大好きなアーティストが大好きなアーティストが奏でる音楽。疲れていても落ち込んでいても微笑んでしまふ幸福感。生のLIVEはもう素晴らしい!でもDVDだと草や草や交わされた目線までも映してくれる。たとえ生で観た後でもLIVE DVDは楽しめること間違いなしです。
二位「市川崑と『犬神家の一族』」春日太一(著)子供の頃からの横溝正史&市川崑好きに私に真面目から胸に刺さった本です。70年代のまだ映画が良かった時代、俳優さんに「あかんやつら 東映京都撮影所血風録」など頭角を表してきた「春日太一」はお勧めです。
三位「隔週刊ジャズLPレコードコレクション」何はともあれレコードなので、うれしそうに購入するお客様に「レコードを聴かないと!」と背を押されませんでした。CDとはまた違う、あの深い音を是非皆様へ。

明に利用された子どもが大人になった今どきの思いで暮らしているのか?と第三の被害者ともいえる人々のことを考えずにはいられなくなつた。新たな視点から未解決事件を振り返ることができると作品。
最後にヤングアダルト向け海外小説を、『堆塵館』は十九世紀ロンドンの巨大なゴミ捨て場に屋敷を構え、不思議な掟に従う一族の物語。とある理由で一族から疎まれていた少年クロッドと、屋敷に召使としてやってきた少女が出会い一族の運命が大きく変わり始める。とにかく魅力的だと改めて気づかされる。読書家ももちろん抑えていると思うのでここでは少年少女の楽しみがぐっと増す一冊になるだろう。①

三冊目は、『写真の新しい自由』です。雑誌「コマ」シャル・フォートで連載されている「流行写真通信」の約五年分の記事と現代の著名写真家へのインタビューを加えて、大幅加筆修正したものが本書です。テン年代の写真史を追いながら、現代の写真家が何を考え、どのような態度で

写真に接しているのかが紹介されており、読み応えのある一冊となっております。
今回は文芸書単行本で印象に残ったベスト3を挙げてみます。
三位『海の見える理髪店』は7月に発表された直木賞受賞作。短編集ですが、表題作の「海の見える理髪店」は40ページに凝縮されたドラマに心を鷲掴みされます。
二位『暗幕のゲルニカ』は七月に直木賞ノミネート作です。九・一一で夫を失った瑤子は反戦運動のためニューヨーク近代美術館にピカソの「ゲルニカ」誘致に奔走する現代パートとピカソが第二次世界大戦中に「ゲルニカ」を描く過去パートが交互に綴られます。大きな物語が二つあるところ、驚き、そして涙。
そして一位は『よこまち余話』。明治の寂れた長屋で起こるちよつと不思議な人情話。住人もまたなにやら謎めいている。終始しつとり穏やかな筆致なのに住人の身の上が明かされるにつれて加速する物語。最後は霞がばあじつと晴れていくよこの本がきつかけで木内昇にハマり、彼女の他作品をしばらく読んでいます。②



奥田民生

2016 年私の BEST 1

昨年からの渴望に

終止符

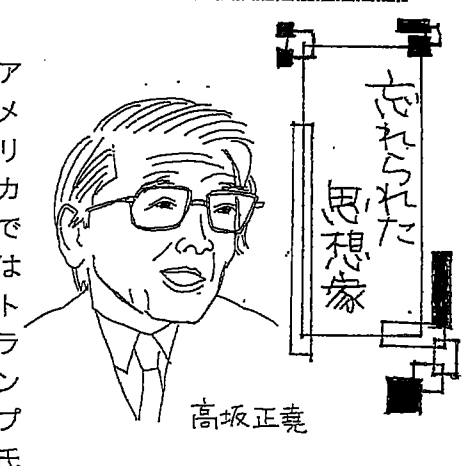
昨年... デイヴィス『沈黙の山嶺』を挙げた。「なぜ登るのか?」...



怖を味わい、そしてどんなふう... その答えがジャック・タル...

一冊ではあるが、本年はこれ... 出版社に敬意を表し

アメリカではトランプ氏が... 高坂正堯の超克を唱えた高坂...



出版社からの新刊案内... 目録が釘付けになった言...

「虚構」を信じる能力... 虚構を信じる能力が、...

タイトルに「○○の知... 多いので、先生が知ら...

自分の知っている歴史は... 時代遅れかもしれない

時代遅れかもしれない... 時代遅れかもしれない

【書籍情報】『聖書の戦争』ジャック・タルデイ・共和国 三三〇〇円...

最新、成政研究

北日本新聞で連載中から気になつていた単行本『武者の覚え』はやはり面白かつた！佐々成政という武将は、富山県民の間では知名度は高いです。全国的には脇役感のある武将で、評価も高し、本書を一読するといかに周りが一目置かれる存在だったかというところが良く分かります。目から鱗が落ちること間違いなし。その最たる証拠が、タイトルにもなっている、因縁ある天下人秀吉による成政評「武者の覚え(武士の鑑の意)」ということ。タイトルが抜群にカッコいい。ただし、作者が成政に惚れすぎているのか随所で成政を絶賛しすぎる気も。個人的には、軍事指揮官として超一級で、教養もある魅力的な人物だったが、大名となつて生き残つていくのが無かつたのが惜しい、という歯切れの悪い評価に落ち着きます。戦国時代を生き抜くこととはとても厳しいのです。者としての期間が四年足らずだった武将ですが、四百年後の今も富山県民の多くから慕われてい価値があつたと羨ましく思います。なお、作者は

滋賀県出身、富山在住の方です。拙いこの文章ですが、目に留まって頂くと嬉しいです。なかだの従業員、「書店員の覚え」目指して精進しています。

追悼

田部井淳子さん

現在、北國新聞にて唯川恵さん作『淳子のてっぺん』が連載されている。その主人公が「田名部淳子」という名前なのだが、恥ずかしながら私はそのとき田部井さんの存在を知らず、『淳子のてっぺん』はフイクションだと思つていた。その後、偶然何かの広告で田部井さんのお名前を知り、この名前が似すぎていて、この名前がおそらくモデルなのだろうと思つたが、それを知らずに田部井さんがうちに田部井さんががんでなくなつたというニュースを見て驚いた。ニュースでエベレストに登頂などの偉業を知り、さらに驚いた。そこで興味湧き本書を読んだ。

小説の先を知つてしまふ感覚もあつたが、この方の落ち着いた語り口からでも感じられる常に前向きで自己体には物事を受け入れる姿勢には感じるものがある。現在、北國新聞にて唯川恵さん作『淳子のてっぺん』が連載されている。その主人公が「田名部淳子」という名前なのだが、恥ずかしながら私はそのとき田部井さんの存在を知らず、『淳子のてっぺん』はフイクションだと思つていた。その後、偶然何かの広告で田部井さんのお名前を知り、この名前が似すぎていて、この名前がおそらくモデルなのだろうと思つたが、それを知らずに田部井さんがうちに田部井さんががんでなくなつたというニュースを見て驚いた。ニュースでエベレストに登頂などの偉業を知り、さらに驚いた。そこで興味湧き本書を読んだ。

「淳子のてっぺん」の先を知りたくない方は連載が終了してからどうぞ。



田部井淳子

大切なあなたのもとへ

死んだ人に、何かに「とりつく」機会を与える「とりつくしま係」。息子の野球道具、恋人のマグカップ、書道の先生の扇子：モノに「とりつく」という共通事項のもと、10の短編が描かれる。

幼くして死んでしまふ者、不慮の事故で死んでしまふ者、死は様々な形で訪れる。「とりつく」ことはできても声は届かないという制約のため、死んだ者から思いが悲痛に響く。一方で、大切な人を思う気持ちが伝わってきて、それぞれの話はとても短いのに、しっかりと読んだ感じがする。自分なら誰の傍に行きたいと願う、何にとりつくことを選ぶだろうか。いずれは訪れる死へ向かつての生き方を考えさせられ、大切な人に会いたくなる。

私の挫折と『ジョン対火星人』

アメトーク「読書芸人」の回で、人気芸人のカズレーザンさんオススメ本として『ジョン・レノン対火星人』が紹介されていました。それまでは「どの本が売れるかな」という書店目線で楽しく見ていたのに、不意に蘇る挫折の記憶……。あれは書店員になりたての頃。子供のころから本好きだったはずが、大学時代にすつかり読書習慣をなくしてしまつていた私は、このままではマズい、と好んで読んでいたなかつたジャンルにも挑戦してみることになりました。その中で出会つたのが先述の一冊だつたわけですが、とにかくワケが分からない！同著者の『さようなら、ギャングたち』は、「これは小説なの？」と思いつつも非常に面白く読めたので、その勢いで、ままた手に取つたのですが、ままた「どこが「も」なにが「も」なく、ただただ分からない。結局、「高橋源一郎を理解するには自分は未熟だったのだ」と言い聞かせ、そつと本棚にしまい込んでいたのでした。

さて、よい機会なので再挑戦、と思つたこの度読み直したところ、あれ？面白いかも。これは読書の経験値が上がつたからであつて、自分が年をとつたからではないよね？

王道ラグビー漫画



高橋源一郎

今年の十月からアニメが放送中のラグビー漫画『ALL OUT』を紹介します。ラグビー未経験の祇園が高校の入学式でラグビー経験者の石清水と出会い、神高ラグビー部に入部することになります。祇園はラグビー部から知らないとこから始まり、知らないところから始めるので、タツクルやポールの回など一つ一つできることを増やしていき、ゆつくりとした成長が楽しめます。

主人公の成長という王道もいですが、この作品が語る上で欠かせないのが元日本代表の籠谷晋一郎の存在です。神高ラグビー部には指導者がおらず、祇園がネットで見つけ出してきたことがきっかけで突如現れます。毎日をオールドアウトする覚悟があるのなら、前回は花園にも行ける。オールドアウトとは全力を出し切ることを弱小ラグビー部を導いていく名コーチの言葉にしびれつつ主人公たちの成長が楽しめる、今オススメの王道スポーツ漫画です。

【書誌情報】『武者の覚え』(荻原大輔・北日本新聞社 一六〇〇円) 『私には山がある』(田部井淳子・PHP研究所 一三〇〇円) 『ジョン・レノン対火星人』(高橋源一郎・講談社 一一〇〇円) 『ALL OUT』(雨瀬シオリ・講談社各五五二円) ※価格は本体価格です。

2016 音楽ドキュメンタリー映画 BEST3



電気グルーヴ

Amy Winehouse

今年見た音楽ドキュメンタリー映画BEST3... 監督の視点、その当時の映像... 無理解もなかった、とか、は、アートの異質な生活は、

ミニマリスト



つづ井

今年発売されたコミックエッセイの中で個人的に面白かったものを三冊ご紹介... 『子宮の中の人たち』は、

暮らしにまつわる三冊

ミニマリストの生活が注目された二〇一六年。フアッシュションでも服を増やさず定番品を選ぶため



Daphne Selfe

TVを見てみるとかなりの頻度で化粧品CMが入ります。若々しく見えたり、「ちりめんジワをなくし」たりする

今年二番の美のバイブル

- 【書誌・CD情報】 『少年の名はジルベール』(竹宮恵子・小学館 1400円) 『罪の声』(塩田武士・講談社 1650円) 『堆塵館』(エドワード・ケアリー・東京創元社 3000円) 『ゼロヴィル』(ステイーヴ・エリクソン・白水社 3400円) 『クラブノインディレーベル・ガイドブック』(三田格・Pヴァイン 2300円) 『写真の新しい自由』(菅付雅信・玄光社 2000円) 『海の見える理髪店』(荻原浩・集英社 1400円) 『暗幕のゲルニカ』(原田マハ・新潮社 1600円) 『よこまち余話』(木内昇・中央公論新社 1500円) 『奥田民生 生誕50周年伝説 "となりのペーターペン"』(ラーメンカレ・ミュージックレコード・DVD6500円 BD7500円) 『市川崑と『犬神家の一族』』(春日太一・新潮社 720円) 『隔週刊ジャズ・LPレコード・コレクション』(デアゴスティーニ 価格不定) 『DENKI GROOVE THE MOVIE?』(ソニーミュージック DVD 4000円 BD 5000円) 『AMY』(ソニーピクチャーズ DVD 3800円 BD 4743円) 2017年1月11日発売予定 『ザ・ビートルズ EIGHT DAY A WEEK』(カドカワ DVD 5800円 BD 6800円) 2016年12月21日発売予定 『子宮の中の人たち』(EMI・KADOKAWA 1000円) 『腐女子のつづ井さん』(つづ井・KADOKAWA 950円) 『うちの猫がまた変なことしてる。』(卯山玉子・KADOKAWA 1100円) 『大人のおしゃれDo! & Don't!』(地曳いく子、横村さとる・集英社 1300円) 『歯はみがいてはいけない』(森昭・講談社 840円) 『世界一清潔な空港の清掃人』(新津春子・朝日新聞出版 1000円) 『人はいくつになっても、美しい』(ダフネ・セルフ・幻冬舎 1300円)